

最近の金融経済情勢について

日本銀行前橋支店長 神山 一成

(わが国経済は踊り場の状況)

わが国経済は、基調としては緩やかな回復を続けていますが、新興国経済の減速の影響などから輸出・生産面を中心に鈍さがみられています。すなわち、海外経済をみますと、緩やかな成長が続いていますが、新興国を中心に幾分減速しており、そうしたもとで、わが国からの輸出が横ばい圏内の動きとなっています。国内需要の面では、設備投資は、企業収益が高水準で推移するなかで、緩やかな増加基調にあります。一方、個人消費は、勢いに欠ける状態が続いており、このところ一部に弱い動きもみられます。その背景には、耐久消費財において過去の様々な対策や消費税率引き上げ前の駆け込みによって相当程度需要が先食いされていることに加えて、年初からの株価の下落による負の資産効果や心理面の影響といった要因もあると考えられます。以上の内外需要を反映して、鉱工業生産は、横ばい圏内の動きを続けており、リーマンショック直前の2008年央の水準を依然として2割方下回っています。

(わが県経済は底堅く推移)

このように日本経済全体では弱さが目立つ中であっても、わが県経済はしっかりとした展開を続けています。こうした要因の一つとして、製造業の活発な活動とその県内経済への波及が挙げられます。県の鉱工業生産は、北米での需要増加を背景とする自動車の好調等から、全国の動きと異なり、リーマンショック後の未曾有の落ち込みを既に取り戻して、過去最高水準で推移しています。短観により2016年度の事業計画をみますと、製造業、非製造業を合わせた全産業の企業収益は4年連続の増益となっており、設備投資計画は前年度を1割程度上回る高い伸びとなっています。企業部門から家計部門に目を転じますと、労働需給は着実な改善を続け、雇用者所得は緩やかながらも着実に増加しています。個人消費は、天候要因等から一部に弱めの動きもみられますが、基調としては雇用・所得環境の改善を背景に底堅い推移を続けています。こうした動きが今後も持続し、いま少し経済の水準が高まってくれば、多くの企業や家計の方に景気回復をしっかりと実感して頂けるようになると思っています。

(思い切った金融緩和の必要性)

先行きのわが国経済を展望しますと、暫くの間は、輸出・生産面に鈍さが残り、景気回復ペースの鈍化した状態が続くとみられますが、その後は、2016年度予算の早期執行や新たに取りまとめられた経済対策の効果を受けて、家計・企業の両部門において所得から支出への前向きの循環メカニズムがしっかりと働き、基調として緩やかに拡大していくと考えられます。ただ、世界経済の不透明感が強いもとで、金融市場は世界的に不安定な動きが続いており、企業コ

ンフィデンスの改善や人々のデフレマインドの転換が遅延し、経済・物価の改善の動きに悪影響が及ぶリスクには注意する必要があります。こうした状況下、「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」のもとでの思い切った金融緩和を通じて、経済・物価の改善の動きをしっかりとサポートしていくことは、日本経済を持続的な成長軌道に復帰させるために、やはり大事であると考えています。

(わが国の金融システムは安定)

新興国経済の減速や年初来の国際金融市場の不安定な動きといった逆風のなか、わが国の金融仲介活動は引き続き円滑に行われています。金融機関の貸出は、業種や規模の拡がりを伴いながら、前年比2%程度の伸びを続けており、金融機関や機関投資家等の有価証券投資の面でも、外債や投資信託等による運用の多様化が進んでいます。金融システムの安定性の面でも、金融機関は充実した資本基盤を有しており、現時点では、特段、懸念する状況にありません。異次元の金融緩和がもたらす様々な影響に目配りする必要はありますが、マクロ的なリスクや指標や考査・モニタリングで得られた情報からみても、行き過ぎたリスクテイクや金融活動の過熱といった、金融面での不均衡は生じていないと判断しています。

(金融仲介機能の更なる向上に向けて)

そのうえで、金融機関決算をみますと、高水準の収益は与信費用の減少や有価証券売却益の増加に下支えされている面が強く、預貸業務等による基礎的収益力は、異次元の金融緩和のもとでの貸出利鞘の縮小を背景に、なお低下傾向が続いています。地域金融機関については、国内預貸業務への依存度が高く、地方の人口減少や高齢化の進展という逆風にも直面しているだけに、先行きの収益の確保のためには、金融仲介機能を高めて企業のニーズに応えることにより、地域に前向きな好循環を作り出していかねばなりません。この点、群馬県の各金融機関は、地方創生や地域活性化に向けた取組みを深めていくこと、中小企業の成長や事業再生を支援する力を強めていくことを重要課題に掲げており、そのもとで、産官学との連携や地域を超えた広域連携による新たな資金需要の創造、創業支援、事業承継等の取組みを積極的に推進しています。日本銀行前橋支店としても、こうした各種の取組みを積極的にサポートしていきたいと考えています。

以 上